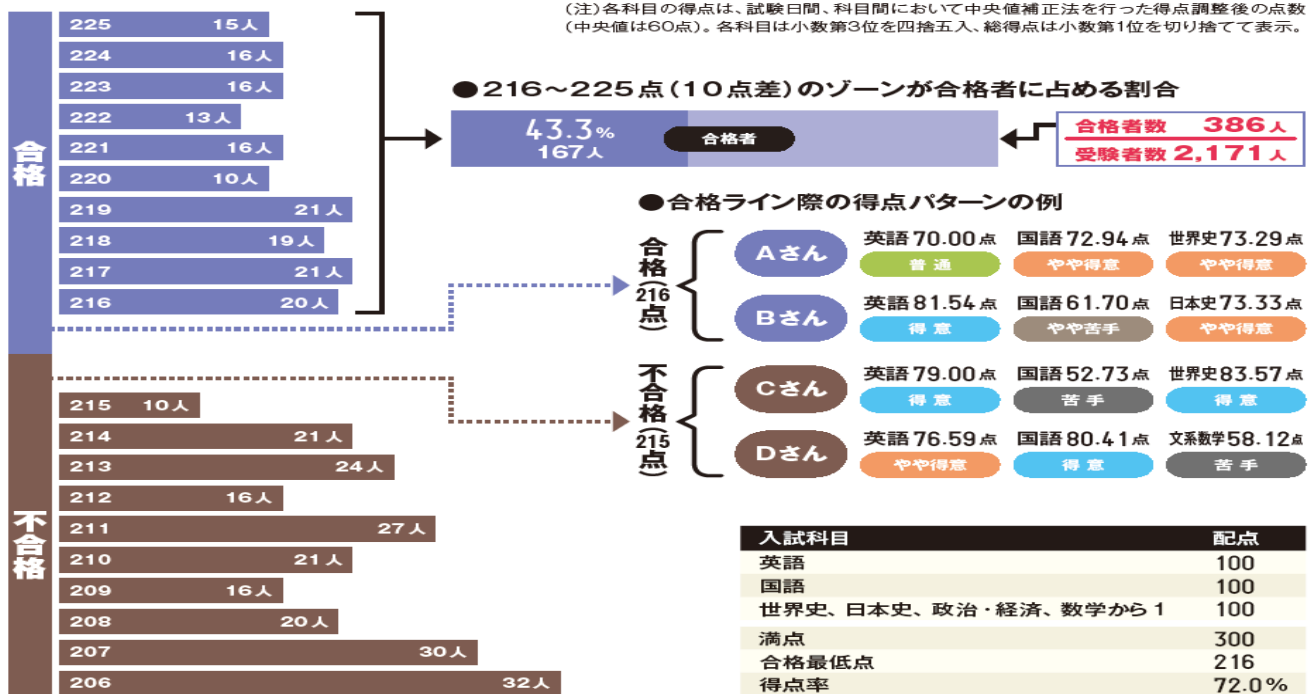


模試とは全然違う！実際の私大入試 合否ボーダー付近のイメージ

大学学部・入試方式によって問題の難易度、受験者層が異なる。**出願校の過去3年分ボーダーを確認すべし**

■ 図1 龍谷大 - 経営 (A日程) 文系型スタンダード方式 合格ライン付近の合格状況



パズナビ・蛍雪時代より抜粋 ボーダー上10点に167人、上下20点に384人いる **苦手科目が命取り**になる『個別入試876作戦』 苦手を5割(以下)に留めず+得意で9割(以上)求めず ボーダー±1割の教科バランス **1点の重み!** 過去問対策(時間内に予想合格点以上)と基礎基本の暗記(文系の多くは暗記問題が存在する)

小金生は知っている(昨秋に解説済み)ことを、YouTubeで偉そうにご託並べてますね!

補欠繰り上げ合格候補者は 募集人員の最も多い募集単位の受験者のうち合格ボーダー以下から得点順に出す理由を説明できる? ①「共テ利用」や「全学部方式」の合格者の多くは「併願(滑り止め)」…入学手続きは少ない ②「本命(上位志望校)」は、国公立大なら前期日程で、私大は一般方式で受けるのが受験の常識だからです! 立教はどうするのか? 文学部以外は、すべての全学部日程の成績(選択科目と日程間での補正あり)順に出す **志望校は必ず、個別方式メイン入試(募集人員が最も多い方式)** 同学部別学科の併願・隣接学部の併願を

今年の入試は、いつも以上にわからない ①共テ重要 ②最新情報 ③諦めない

たぶん今年も正規合格者を絞らない 補欠繰り上げ候補者も多めに出す 多少の入学定員超過を是とするはず 私大の場合、大学経営上(受験料、入学金、授業料)とイメージの問題(合格者を絞りすぎると翌年人気なくなる) 推薦AO比率が高くて、大学として評価されるのは、東北・筑波・早・慶レベルだけ 他は上位大学≒一般入試 ホームページに総合型・推薦型選抜結果を公表しない大学 定員を超えて合格させている可能性 一般の枠が… 万が一、2月以降の個別試験が、大学として実施できない状況 や 感染症を理由に受験できない場合 【追試験を実施】別日程で個別試験を行う予定だが…【共通テストの成績を「追試として代替」する】現実的だが… 出願時~入試日 ホームページを要確認のこと 変更がある場合…インターネット出願サイトまたはホームページ 例:入試日程が国公立より早い私大:中央12/17更新 明治12/24更新 早稲田1/6更新 立教1/7更新 など

大学は、諦めた人より最後まで頑張る人を取りたい 大学のため・本人のためになるから

淡々、肅々、凜々、燦々と日々を過ごせ! 「若い時の苦勞は勝つてでもしろ」という言葉もある 苦勞人は強いのだよ